

二十歳代表のあいさつ

田中 仁翔（小郡中卒業）



二十歳を迎える皆さん、本日はおめでとうございます。
また、このような場でご挨拶させていただく機会をいただき、心より感謝申し上げます。

私は現在、医学生として幅広い学問に取り組みながら、部活動ではバスケ部で心身を鍛え、バイトを通して社会のしくみの一端を少しづつ学んでいます。

学業では高度な知識や膨大な情報量に圧倒される日もありますが、人体の精巧さや医療の奥深さに触れるたび、将来は誰かの人生に寄り添い、力になりたいという思いが一層強くなっています。

部活では仲間と汗を流し、バイトでは責任を持って働くことの難しさと楽しさを感じる毎日です。それぞれの環境で得られる経験が、自分を成長させてくれていることを実感しています。

そして、この20年間を通して、ある大切なことに気づきました。
それは、自分の特徴——長所も短所も含めて理解し、常に学び続ける姿勢を持つことです。少しでもそれができると、人生は不思議といい方向に進んでいく。最近、そう実感しています。

この場を借りて、家族への感謝も伝えたいと思います。いつも気にかけてくれ、言葉にはしなくても支えてくれていたことを、ちゃんとわかっています。迷ったときは親の言葉を思い出して、自分の姿勢を正してきました。どれだけ離れていても、忙しくても、ふとしたときに思い浮かぶのは家族の顔で、本当は弱った時ほど、あなたたちの言葉に頼っていました。当たり前だと思っていた優しさが、実はどれほど大きな力だったのか、やっと最近になって気づいてきました。生まれてからずっと支え続けてくれてありがとうございます。

あなたたちがくれた愛を、これから的人生で少しづつ返していきます。

最後に、同じ二十歳を迎えた皆さんへ。

はっきりした目標がある人もいれば、まだ探している途中の人もいると思います。どちらであっても焦る必要はありません。大切なのは、自分をよく知り、今できる一歩を重ねていくこと。その歩みが、自分だけの道を切り拓いてくれます。

成人という節目を、新たなスタートとして、これから的人生をともに歩んでいければと思います。

本日はありがとうございました。